

葵と月桂樹に挟まれて雪柳と目立たないれんぎょうが負けずと伸びて花を咲かす準備をしている。

ゆすらうめはいっぱい広げた細い枝に芽吹いて遅い春をまっている。庭の真ん中で牡丹が赤いふっくらした芽を吹いている。ノースポールが2輪咲いた。寒い寒い冬もながくは続かない。TVでタンチョウズル、白鳥など大型の鳥も北帰行の準備、「青葉の森公園」の舟田池で日本の冬を過ごした水鳥達ももそろそろ北へ帰る準備をしていると思う。マガモ、コガモ、オシドリ、などなどカイツブリは溜鳥この池の主のような存在、冬を過ごした冬鳥達は北を目指し、ちかじか飛び立つ準備に忙しいのかもしれない。と言っても準備で何をやるのだろう。ロシアのシベリアへ行くとしてもパスポートなどは不要のはずだ。仮に入国チェックがあったとしてもまっぴらごめんよ！と行けばよいのである。鳥達よ！トリインフルエンザにだけは気を付けてください。それではご機嫌ようまた来年あいましょう。

春のきざし 18/3/6 Hidekuro



相思相愛の求愛ダンス ここは日本  
まもなく雪融け、春です  
春にばシベリアに帰ります



尾白ワシに蹴りを入れる  
あっちに行け

メガネといえば近眼、老眼、遠近両用、中近両用サングラスなどがある。1年前に作った眼鏡があるがこれをかけると中近両用なのでテレビを見るのには具合がいい、ただし、「近」は良くない。本を読むときに使うわけだが、裸眼との差がないしかも眼鏡の下部で見なければならぬので顎をあげてわずかな隙間からのぞく様な状態になる。これが嫌だ。そんなことだったらということでハッキリと買った老眼のほうがよっぽどいい。

年に一度眼科に行っているが「これから眼鏡を作っても裸眼との差は見込めない」要は加齢ということらしい。ただ、テレビについては乱視が補正されたのでクリアーに見える。それだけのことで眼鏡をかける鬱陶しさを我慢できない。

昔のコマーシャルで「美人はより美しく写ります。そうでない人もそれなりに写ります」なんかそんな感じのものだったと思う。眼鏡についてもそんな夢の眼鏡を開発されないだろうか。世の中は明るくなるのではないのでしょうか。

メガネ 18/3/13 Hidekuro